

# 三菱デジタルCCTVシステム“MELOOK μ”の映像情報セキュリティ

山口晃由\*  
上田智弘\*\*

Information Security for Mitsubishi Digital CCTV System “MELOOK μ”

Teruyoshi Yamaguchi, Tomohiro Ueda

## 要旨

近年の犯罪件数の増加と、犯罪検挙率の低下を背景に、監視カメラを用いた映像監視システムを導入する施設が増加している。その中でもデジタルCCTV(Closed Circuit Television)は、ビル・パーラーなど大規模店舗を中心に導入が進んできたが、今後、コンビニエンスストアなどの小規模店舗への導入が進むと予想される。

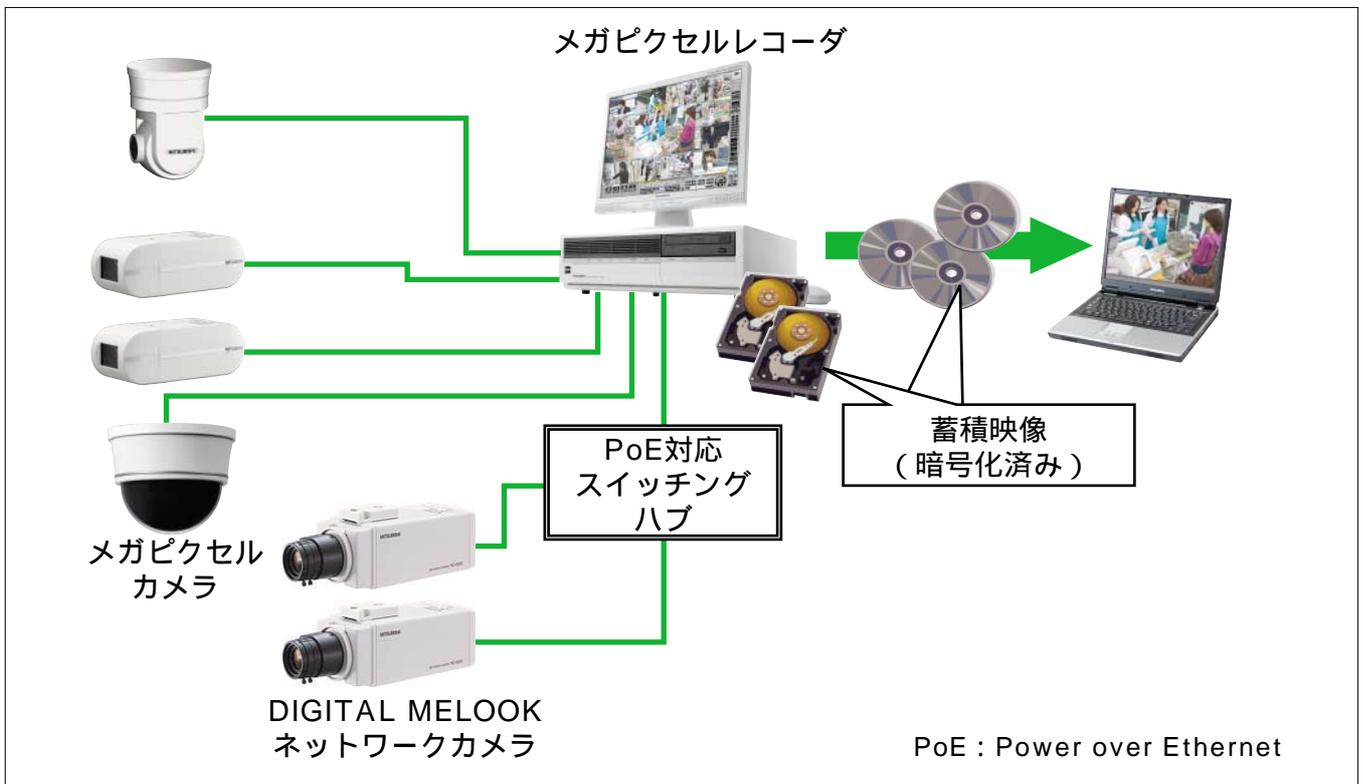
コンビニエンスストアなどの小規模店舗向けの映像監視システムには、高精細画像によるリアルタイム監視を、導入しやすい価格で実現することが求められている。

一方で、無制限な監視カメラの設置はプライバシーを侵害するという声も少なからずある。映像監視への理解を得るためには、映像情報を適切に扱うことが重要である。特に、通信路の盗聴や、映像を蓄積したストレージの盗難といった不正行為から、映像情報を確実に保護することが求

められる。

三菱電機では、中小規模店舗向けの映像監視システムとして“MELOOK μ(メルックミュー)シリーズ”を開発した。MELOOK μは、メガピクセル映像のリアルタイム監視・記録をアナログシステム並みの低価格で実現した。これによって、店舗出入口やATMコーナーにおける人物の人相・服装にとどまらず、これまで困難であった店舗のレジにおける紙幣の種別や商品ラベルも識別可能となる。また、世界最高水準の暗号技術によって、映像データを暗号化してレコーダに記録でき、第三者による内蔵ハードディスクやコピーメディアなどへの不正アクセスなど、情報漏えいのリスクを軽減できる。

本稿では、MELOOK μにおけるセキュリティ技術に焦点をあてて述べる。



## 三菱デジタルCCTVシステム“MELOOK μ”

三菱デジタルCCTVシステムMELOOK μは、メガピクセルカメラとメガピクセルレコーダとで構成される。メガピクセルカメラで取得した高精細画像を、メガピクセルレコーダで蓄積・表示する。また、メガピクセルレコーダには、従来の“DIGITAL MELOOKシリーズ”のネットワークカメラも接続可能である。蓄積された映像は当社独自の暗号技術“MISTYファミリーBROUILLARD(ブレイヤール)”で暗号化され、蓄積画像のセキュリティを確保する。